

太平洋セメント

「藤原工場の必要性ない」

がれき処理でいなべ市長

【いなべ】いなべ市の日

て「ごく少量だ」と指摘。

工場に「何のアクションも起こしていない」とした。

沖靖市長は四日の定例記者会見で、東日本大震災のがれき処理に関し、太平洋セメント藤原工場での受け入れに否定的な見解を事実上示した。「積極的に協力したいが、プラントが小規模だ。あえて藤原で行う必要性はない」と述べた。

木質性の良質なチップの行き先のめどがつか出したと聞いていると言ひ、「あえて頼む意味があるのか、疑問だ」と疑問を投げ掛けた。

県から四月に「『市が先走って依頼に行くな』と言われた」とも明かし、藤原

藤原工場について、一日当たりの処理量が同じ太平洋セメントの大船渡工場（岩手県大船渡市）に比べ